

2010 年 10 月 21 日

ニュースリリース

株式会社五藤光学研究所

東京国際線旅客ターミナルに「PANDORA」1号機を納入

株式会社五藤光学研究所（東京都府中市：取締役社長 五藤信隆）は、東京国際空港ターミナル株式会社 / T I A T（東京都大田区：代表取締役社長 霜田明彦）に、高輝度 LED 光源を用いた小型恒星球「PANDORA」の1号機を納入した。同機は、本日開港した東京国際線旅客ターミナル（羽田新国際線ターミナル）の5階「TOKYO POP TOWN」 “Planetarium Starry Cafe,, にて、就航都市の風景や宇宙空間の映像と共に美しい星空を提供する。

株式会社五藤光学研究所（取締役社長：五藤 信隆、東京都府中市）は、天文機器に関する総合メーカーである。1926年の創業時は小型天体望遠鏡を製造。1959年には光学式プラネタリウムの開発に成功し、日本及び世界各地に同設備を納入している。2004年からは光学式プラネタリウムと全天周デジタル映像システムを融合させた「GOTO ハイブリッド・プラネタリウムシステム」を開発し、国内外に数多くの納入実績がある。

東京国際線旅客ターミナルは、「東京国際空港国際線旅客ターミナルビル等整備・運営事業」により設置された東京国際空港ターミナル株式会社 / T I A T（東京都大田区：代表取締役社長 霜田 明彦）が設計・施工監理、運用、維持管理を行う施設であり、東京国際空港（羽田空港）に隣接している。

新型恒星球 “PANDORA,, は、今年6月にリリースされた最新型恒星球であり、新国際線旅客ターミナルの5階「TOKYO POP TOWN」、 “Planetarium Starry Cafe,, に納入された。同施設は東京国際空港ターミナル株式会社が運営する、直径10mの傾斜スクリーンを有するプラネタリウム&カフェであり、プラネタリウムプログラムの上映や就航都市の風景の下で飲食が出来る、空港では世界初の施設である。

同施設の館長である藤尾智宏氏（東京国際空港ターミナル株式会社）は以下のように述べています。

「東京国際空港旅客ターミナルへのプラネタリウム設置は私たちの夢であり、大きなチャレンジでした。このチャレンジを五藤光学のPANDORAは適えてくれました。機能や性能は勿論、信頼性の高さが、五藤光学を選んだ大きな理由です。」

"Planetarium Starry Cafe,, の営業時間は朝 8 時から夜 10 時まで。朝 8 時から午後 2 時がカフェタイム、午後 2 時から午後 5 時までがプラネタリウムタイム、午後 5 時 30 分から午後 11 時がバール(BAR)タイムである。

カフェタイム及びバール(BAR)タイムは飲食が提供され、カフェの経営は株式会社プロントコーポレーションが行う。

株式会社五藤光学研究所は、この "Planetarium Starry Cafe,, の映像制作もNHKエンタープライズと共に担当した。カフェタイム及びバール(BAR)タイムでは、天井(ドーム)に森や宇宙、就航都市などが投映され、まるで大きなドーム状の窓から異世界を見ているかのような雰囲気が味わえる。また、毎時 0 分になると時報を知らせる映像が投映される他、1 日数回、特別な映像が流れるショーも用意されている。

< 解説 >

株式会社五藤光学研究所 (GOTO INC)

プラネタリウム、大型映像システム、天体望遠鏡製造のトップメーカー。特にプラネタリウムでは国内シェアの約 7 割を占めている。全天周フィルム映像(アストロビジョン)や 3D デジタル映像装置(バーチャリウム)を他社に先駆けて開発、発表する他、機器設備の能力を活かした映像コンテンツ制作も行う「ドーム空間のトータルクリエイター」である。

〒183-8530 東京都府中市矢崎町四丁目 16 番地

オフィシャルHP <http://www.goto.co.jp/>

東京国際空港ターミナル株式会社

東京国際空港再拡張事業の一環として、PFI (Private Finance Initiative) 手法により、旅客ターミナルビル、空港利用者用駐車場及びこれらの両施設を結ぶ連絡通路等の設計・施工監理を行うと共に、それらの効率的な運用、維持管理を行うことを目的として計画。日本空港ビルデング株式会社を代表企業とする 14 社からなるコンソーシアムにより結成された特定目的会社 (SPC) である。

〒144-0041 東京都大田区羽田空港 2-6-5

オフィシャルHP <http://www.tiat.co.jp/>

東京国際線旅客ターミナル

2010 年 10 月 21 日に誕生した東京(羽田)国際線旅客ターミナル。総面積約 10,000 m²、総勢 105 店舗のショップ&レストランを数え、昼間は、中国(北京・上海・香港)、ソウル、台北に、深夜早朝には、アメリカ各都市(サンフランシスコ、ロサンゼルス、デトロイト、ニューヨーク、ホノルル)やアジアの主要都市(シンガポール、バンコク、クアラルンプール)、欧州パリなどに就航が予定されている。

ハイブリッド・プラネタリウム (HYBRID PLANETARIUM)

株式会社五藤光学研究所が開発、提唱する新しいプラネタリウムシステム。光学式プラネタリウムと、様々な迫力ある映像を投映する全天周デジタル映像システムを組み合わせ、各々が常に同じ座標空間を投映できる仕組みを有するものである。

同システムを構成する新型恒星球「PANDORA (パンドラ)」は、2010年6月に発表した最新型であり、LED光源により4千万個の恒星を投映することができる。2号機は2011年3月に平塚市博物館に設置されることが決定している。

ハイブリッド・プラネタリウム (HYBRID PLANETARIUM)、バーチャリウム (VIRTUARIUM) は株式会社五藤光学研究所の登録商標です。

以 上